

## 令和4年度まちかどミーティング会議録

開催日 令和4年10月19日（水）

地 区 豊川町地区

会 場 豊川コミュニティセンター

### 〈意見交換〉

◆市民 しらかば町に住んでおります■■■■でございます。

このテーマ、3分間って短いですね。市バスの1、2でも出ておりますが、当然事業者が担当しておりますけど、これは市の予算とか市の考え方に基づいて、事業者がやはり運用するものだというふうに思っております。ですから、市が要望を出すということは、市民の声とか市民の動きを見て、それを察知していただきたいんですが、これは個人的要望ではありません。

バスに乗り込むとき、それから降りるとき、これはバス運転手さんの技術にもよるかもしれませんが、縁石にできるだけ近いところでバスが止まると、乗る方が、私たちのように70、80、もっと年老いた方も1人でやっぱり外出するときにバスに乗っているわけですよ、乗り込みに来るんですよ。そうしたら、そういう人がバスに乗るのに非常に苦勞しています。ですから、縁石に近いところで止まってもらえると、縁石もワンステップになりますんで、本当にぜひ近くに止まってくれと、すぐ短い足でもまたいで乗り込んでいけるんですが、それはバスの運転手さんの技術にもよるんでしょうけど、縁石から30センチも40センチも離れてバスが止まると、縁石の上で待っている方が道路に下りて、そこからバスに乗り込むということになります。そうすると、足が上がり、もう非常に苦勞しております。しまいにはバスのワンステップに膝で乗り上がって、それから両手で手すりをつかみながら乗り込んでいます。ですから、たまたま私が後ろにいれば支えてあげて、スムーズに乗れるようにお手伝いしていますけど、これはやはり市バス、事業者だからということではなく、やはり市の要望、市民の要望として、きちんと事業者を指導するというか、事業者にお願いするようなことをしていただければと思います。以上です。

○司会 ありがとうございます。

ただいま、バスの乗り降りのときに、縁石に近いところで止まってもらえると乗り降りが楽だというような趣旨かと思しますので、回答のほうお願いいたします。

◎まちづくり推進課主幹 まちづくり推進課で公共交通担当しております稲葉と申します。よろしくお願ひいたします。

ただいまいただきましたお声につきましては、道南バスの事業所の所長と定期的なミーティングを行っておりますので、そのような縁石の近くにできるだけ止まるということで、引き続き注意してほしいというお声を伝えたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

◆市民 よろしくお願ひします。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

今、マイクお持ちいたします。

- ◆市民 私、豊川町内会の■■■■といます。今、津波のことは全部聞きました。だけど、今月の4日でしたが、朝、北朝鮮からミサイルが飛んできたんですね。慌ただしく、携帯からラジオからテレビから、わあわあ鳴りました。そして、堅牢な建物のところに逃げなさいということでございますが、ミサイルがどこに飛んでくるか分からないので、どこに逃げたらいいのか、市のほうでそういうことを検討しているのでしょうか。平成17年にもミサイル1発来ましたね。右往左往するわけです。津波対策はいいんですけど、ミサイル対策はちょっとまだいっていないんじゃないか。私もそんなところに逃げるよりは、どんと家で座ったほうが安全だと、こう思いまして逃げませんでした。以上でございます。

○司会 ありがとうございます。

ミサイル対策にということでした。市のほうから回答お願いいたします。

- ◎危機管理室長 ご質問いただきましてありがとうございます。危機管理室、前田でございます。危機管理室のほうで国民保護というものも担当しております、私のほうからご回答さしあげたいと思います。

この国民保護の弾道ミサイルですとか、そういったものなんですけれども、今■■■■さんがおっしゃるとおり、国からは、こういった、Jアラートというものが何度か鳴ったんですけども、こういったものが鳴ったときには、頑丈な建物、コンクリートですとか、あるいは地下がある町であれば、地下のほうに逃げてほしいというふうに言われておりますが、なかなか苫小牧ではそういうところはありません、地下はありません。もしも表にいる、外を歩いているときであれば、できるだけ頑丈そうな建物の中に入っていたきたいということ、それから、家の中にいるときには、できるだけ窓から離れるということ、そしてできれば耳ですと鼓膜やられちゃいますので、そういったものを守りながら、この間も、先日のJアラートも、ミサイル発射という情報と、その後ミサイルが通過しましたという情報、2つ来たと思います。通過情報が出るまで、窓から離れるというようなことをやっていただきたいというふうに思います。それは国からもそういうような呼びかけがなされておりますので、苫小牧市のホームページの中にもそういった情報については掲載しておりますので、もしもよろしければちょっとその辺を後ほどご覧いただければと思います。

そういったことにならないことが一番いいんですけども、ちょっとそのようなときには、そういった対応をお願いできればというふうに思っております。以上です。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

今、マイクをお持ちいたします。

- ◆市民 有珠の沢の5丁目の■■■■といます。

毎回話させてもらってるんですが、白鳥たちのことでちょっと話をさせていただきます。

白鳥たちは、釣針といたずらに苦慮しております。いたずらのあつたとき、鳴、白鳥たちは人間の敬遠、警戒が強いです。そんなときは飛べない白鳥はいなくなります。行きそうな場所を3

日探します。3日探してもいないとき、警察のパトロールをお願いします。羽が悪く飛べない白鳥、消えた白鳥は二度と会えません。パトロールは毎年お願いしています。なぜ白鳥たちは飛べなくなっているのか、最初の渡りが85%です。電線に引っかかって羽を傷めて、もうどこにも行けなくなりますよね。

今年のことなんですけど、家族がいるんですけど、10月5日、父親と家族が、父親がいなくなりました。いたずらです。毎年こういういたずらがあるんです。昨日、18日、2羽いた子供の1羽が、緑樹園の前に白鳥の羽が散乱して、1羽なくなりました。しかし、羽だけです。何があったのか、家族は母と子白鳥2羽になりました。15年ほど、飛べない白鳥は、5年前、飛べない白鳥になってしまったんですけど、針を飲み、またいたずらで白鳥が消えてなくなります。卵を抱いてたときも、なかなかかえらないと思ったとき、母親がいなくなり、父親が巣を守っていました。けれど、父親も諦め巣から離れました。次回、次に、卵がどうなっているか、川中にいた人に頼み、巣の中の卵がどうなっているのか見たんですけど、巣の中にはきれいなわらがかぶせてありました。しかし、卵は1つありませんでした。2日前は親が卵を転がし抱いて、卵はきれいになっていました。

また、釣り人に釣針に気をつけてとお願いしますと言うと、釣りの場所で白鳥が針を飲むのは常識だと言われました。しかし、京都から来た、札幌で、会社の関係で来たんですが、苫小牧で白鳥がかえったということを知って、こんな景色見られるのは苫小牧しかないんだよ、どこへ行っても見られないよって。これは苫小牧の宝で財産なんだと思いますよって言ってくれました。

何とか今まで20羽以上いた白鳥が、今は飛べない鳥は2羽しかいなくなって、そして今12月まで、また飛べなくなった子が入ってきましたけど、ただ、苫小牧で生まれると、何かあるとやっぱり苫小牧に来るんですよね。そういうのって、渡り、近くで見るとは、子供を見せる、親に見せています。

そういう状態なんで、何とか、何もできないのなら、ウトナイに連れていってもらいたいです。もう何羽もないので、これ以上苦しい思いはさせたくないんですよね。その願いです。

○司会 ありがとうございます。

ただいま苫小牧川の白鳥の件で、白鳥がいたずらされていなくなっているというようなお話かと思しますので、市のほうとして何かそういう対策についてということで、回答お願いいたします。

◎環境生活課長 皆様、おばんでございます。環境衛生部環境生活課の武田と申します。よろしく願いいたします。

まず、白鳥、苫小牧市の鳥でございます。市のシンボルでございます。この白鳥、苫小牧川で長年にわたり見守っていただき、まずはお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

私も、ここに来て3年間、白鳥の問題については担当から報告を受けておまして、今日も実は午後、苫小牧川の現場のほうにちょっと行きながら、どうしたらこういう問題を解決できるのかどうか、少し考えていました。私なりにちょっと考えた中で、やはりなかなか白鳥が生きてい

くためには、この環境が少し厳しいのかなというところは少し感じています。やはり人との距離が近い、近いということで、ふだんよく目にすることができるのはメリットかと思うんですが、釣り人だったりお散歩の方だったり、あるいは近くの野良猫ですとか、人と近いことで白鳥の生息上もよくないかというところは少し感じています。

先ほど■■■さんからも、ウトナイ湖に移せないかというお話ございました。実際、これまでに負傷した白鳥を治療しながらウトナイ湖に移したというケースもございますので、この辺は北海道ですとか環境省さん、あるいは鳥獣センターと協議しながら、よりよい環境へ移せないかというところは考えていきたいと思います。

1点お願いがあります。今ちょうど渡り鳥が日本国内に入ってきている状況でして、日本国内でも渡りの季節に伴って、鳥インフルエンザが今季節も発生が始まっています。これすぐに人にうつるものではないんですが、鳥の中ですごい病原性、高い感染力を持っていて、これが鶏ですとか、飼ってるものにうつると、大きな被害を及ぼします。こうしたものを防ぐ観点から、野鳥との適切な距離の取り方というのは考えなければなりませんので、その辺はぜひ気をつけていただきながら、引き続き見守りと、何とかこの苫小牧市のシンボルである白鳥を、よりよい環境で生かしてあげられるようなアイデアについて、一緒に考えていきたいと思いますので、どうかよろしく願いいたします。以上でございます。

◆市民 よろしく願いいたします。

○司会 それでは、次、前列の方に。

◆市民 豊川町内会の■■■と申します。

今回、バイパス北側のところの木もれびの道の件でちょっとお願いしたいことがございまして、私のほうもお話したいと思います。

日頃、木もれびの道、本当にきれいに整備していただいているところでございます。つきましては、木もれびの道を歩いていますと、街路灯があるんですね、10メートル間隔、15メートルから20メートルぐらいの間隔かな、それが老朽化で、頭の上のほうが落ちそうで、落ちたのもあったんですけど、ちょっとのけたりしているんですけど、すごく危険な状態にありますので、一度見ていただいて、整備していただければと思います。以上でございます。

○司会 ありがとうございます。

ただいま、木もれびの道の街路灯について、もう老朽化していて危険な、落ちそうなところがあるということでしたので、回答のほうお願いいたします。

◎維持課副主幹 維持課の菅野といいます。市内の指導の管理を行っているという部署になります。

今回、木もれびの道の街路灯だったんですが、当初、あそこに道をつくってからずっとある照明灯なものですから、前回のまちかどミーティングでも老朽化しているよということでお話しただいてまして、一度点検をして、光がある場所を丸ごと取り替えたりとかということはおしております。今回のそういう場所が、私たちもちょっと何件か見ておりますので、ちょっと悪いところに関しては再度取り替えたり、全体的にちょっともう相当古くなってきているものですから、

全体的な見直しも含めて、ちょっと検討してまいりたいと思っております。早急に悪いところは、一時的な補修をちょっと行っていきたくと思っておりますので、よろしくをお願いします。

◆市民 よろしくお願いいたします。

○司会 それでは、ほかにどなたかいらっしゃいませんか。

ほかにいらっしゃらなければ、これで終了したいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、意見交換のほうを終了させていただきたいと思えます。

最後に、本日のまちかどミーティングの終了に当たり、岩倉市長よりご挨拶を申し上げます。

◎市長 今夜もご質問と意見、4人の方にご発言をいただきましてありがとうございます。すぐ対応できる問題もあれば、対応できない問題もございますが、すぐ対応できることについては、しっかりとスピード感を持って対応していかなければならないなというふうに思っています。

■さんからミサイル対策、これ国で国民保護法という法律がありまして、国民保護法に関わる万が一のときの対応は、市のほうでも備えはあるんですが、ミサイルのような場合にはもう本当にいかんともし難いような状況がございます。しかし、できる範囲で市民の皆さんの安全・安心を守るために、情報、北朝鮮の動き等々についての情報だけは、できるだけ早くキャッチできるようにやっておきたいなというふうに思っております。万々が一飛んできて、■さんは避けて多分行くと思うので、あれですけど、本当に物騒な世の中だなというふうに思っております。

バスの停留所の問題もいただきました。これも私、腰を悪くしてからバス通勤はしていないんですが、1期目、2期目、3期目とバス通勤していて、確かにバスの運転手さんの技術もありますし、特にこれから除雪した後の停留所の横にわざわざ積むなって、雪を、というご指摘もよくいただくことがあります。だんだんだんだん高齢化率が高まって、免許証をもう返したという市民の皆さんも増えてきていますので、そこはできるだけバスの乗降時に万が一の事故が起きないように、しっかりやっっていかなければならないなと。事業者のほうにその旨の意見は必ず通知して、各ドライバーさんに注意徹底をするようにしていきたいなというようなことを感じました。本当にありがとうございました。

佐藤副市長、今日が最後なんだな。

◎副市長 はい。

◎市長 今日が最後、あしたは木村副市長ということで、ちょっとマイクが嘆いていますので、最後に佐藤副市長からお礼のご挨拶を。

◎副市長 改めて、おばんでございます。副市長の佐藤でございます。

この地区、実をいうと、私がこういったお話をさせてもらうようになったときから、お世話になった議員さんのOBですとか、今日は現役の議員さんいないかなと思ったら、議員さんがいらっしやったりとか、非常に実はやりづらい地区なんですよ。これは何となく、終らせようと、おまえうそ言うなよって、何か目線でやり取りをして、いつもここに来ると本音でお話をさせていただいています。

市長からもお話あったとおり、16地区の今日は15ということで、明日で今年度のまちかどミー

ティングは終わるわけでございますけども、コロナの中、皆さんまた、外もこうやって寒くなっている中、こうやってご参集いただきまして本当に頭の下がる思いということでございます。

先ほど市長からも二、三点お話がありましたとおり、それだけじゃなくて、本当は皆さんもっと心の中というか胸の中に思っていることはたくさんあるのかなって。ただ、こういう席でなかなかお話しできない、遠慮されている方がいるのかなって思っておりますので、今日の4点だけじゃなくて、もっともっと我々日頃から皆さんの地区のことについてもいろいろと勉強させてもらいながら、改善をということで努めてまいりますので、今日はこの地区の私初めてですけども、引き続き担当も後ろにおりますけども、皆さんのために頑張っておりますので、何か最後の挨拶、本当に最後の挨拶みたいですけども、引き続きよろしくお願ひしますということで、帰りには、暗くなって、足元見えづらくなっていますので、十分お気をつけてお帰りになりますようお願い申し上げながら、終わらせていただきます。ありがとうございました。（拍手）

**○司会** 以上をもちまして、まちかどミーティングを閉会いたします。

ご帰宅後には、手洗い、うがいを徹底していただきますようお願いいたします。本日は、誠にありがとうございました。